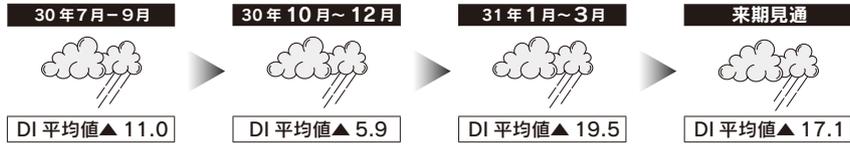


# 県内中小企業(製造業)景況動向

平成31年1月3月期

業況大幅悪化、来期は若干の回復見込み

本会調査結果概要



## 業種別景況動向

### 食料品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲38.1	▲22.2	▲16.4	2.0

同期比の売上高DIは▲7.7、収益性DIは▲25.0で、両方を合わせたDI平均値は▲16.4となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは18.4ポイント上昇して2.0となり「曇」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲30.8、収益性DIは▲27.7となった。

また、雇用人員判断DIは12.8、設備操業率DIは▲13.1、設備投資実施率は23.1%となった。

### 繊維・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲5.6	▲17.3	▲25.9	▲10.7

同期比の売上高DIは▲12.5、収益性DIは▲39.2で、両方を合わせたDI平均値は▲25.9となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは15.2ポイント上昇して▲10.7となるものの「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲36.4、収益性DIは▲53.3となった。

また、雇用人員判断DIは26.6、設備操業率DIは▲13.3、設備投資実施率は8.3%となった。



## 概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(同期比)については▲19.5となり、前回調査(30年10-12月期)の▲5.9から13.6ポイント下降している。来期見通しにおいては▲2.4ポイント上昇して▲17.1となっている。売上高DI(同期比)については▲16.0となり、前回調査から17.2ポイント下降している。来期見通しにおいては▲1.8ポイント上昇して▲14.2となっている。収益性DI(同期比)については▲23.0となり、前回調査から10.1ポイント下降している。

来期見通しにおいては3.1ポイント上昇して▲19.6となっている。業況DI(同期比)については▲19.2となり、前回調査から12.6ポイント下降している。来期見通しにおいては▲2.7ポイント上昇して▲16.5となっている。原材料価格DI(前期比)については52.1となり、前回調査から1.4ポイント上昇している。販売価格DI(前期比)については6.5となり、前回調査から0.9ポイント下降している。資金繰りDI(前期比)については▲15.8となり、前回調査から8.8ポイント下降している。金融機関の態度DI(前期比)に

ついては0.0となり、前回調査から2.0ポイント下降し、硬化している。設備投資実施率については29.0%となり、前回調査から2.9ポイント下降している。業種別で高い実施率となったのは「機械・機器・金属・同製品」で、目的別では「品質向上」「増産」となっている。また、来期の設備投資計画率については36.8%となった。設備操業率DI(前期比)については▲17.9となり、前回調査から17.4ポイント下降している。なお、回収率については、調査対象500社のうち249社からの回答があり49.8%となった。また、回答企業の平均従業員数は49.5人であった。

### 紙・加工品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
6.3	15.4	▲41.7	4.2
<p>同期比の売上高D Iは▲33.3、収益性D Iは▲50.0、両方を合わせたD I平均値は▲41.7となり「雨」模様に転じている。来期見通しは45.9ポイントの大幅上昇で4.2となり「曇」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲50.0、収益性D Iは▲58.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは「不足」、「過剰」ともに8.3%で0.0、設備操業率D Iは▲33.4、設備投資実施率は27.3%となった。</p>			

### 木材・木製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲21.6	▲35.0	▲5.0	0.0
<p>同期比の売上高D Iは「増加」、「減少」ともに18.2%で0.0、収益性D Iは▲10.0で、両方を合わせたD I平均値は▲5.0となり「曇」模様に転じている。来期見通しは5.0ポイント上昇して0.0となるものの「曇」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲18.2、収益性D Iも▲18.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは36.4、設備操業率D Iは▲27.3、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			

### 金属・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
10.7	20.8	▲6.3	▲20.3
<p>同期比の売上高D Iは▲3.2、収益性D Iは▲9.3で、両方を合わせたD I平均値は▲6.3となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは14.0ポイント下降して▲20.3となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲31.2、収益性D Iは▲25.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは16.6、設備操業率D Iは▲29.1、設備投資実施率は43.8%となった。</p>			

### 窯業・土石製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲32.5	▲15.6	▲28.4	▲46.0
<p>同期比の売上高D Iは▲32.4、収益性D Iは▲24.3で、両方を合わせたD I平均値は▲28.4となり「小雨」模様が続けている。来期見通しは17.6ポイント下降して▲46.0となり「雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲32.5、収益性D Iは▲21.8となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは28.1、設備操業率D Iは▲3.2、設備投資実施率は18.9%となった。</p>			

### プラスチック製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲20.0	3.6	▲23.1	▲23.1
<p>同期比の売上高D Iは▲38.4、収益性D Iは▲7.7で、両方を合わせたD I平均値は▲23.1となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは今回調査と同じく▲23.1となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲53.8、収益性D Iは▲25.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは33.3、設備操業率D Iは▲25.0、設備投資実施率は30.8%となった。</p>			

### 機械・機器

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
9.0	1.5	▲19.1	▲21.5
<p>同期比の売上高D Iは▲16.2、収益性D Iは▲22.0で、両方を合わせたD I平均値は▲19.1となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは2.4ポイント下降して▲21.5となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲23.6、収益性D Iは▲26.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは19.6、設備操業率D Iは▲19.7、設備投資実施率は44.1%となった。</p>			